

平成 29 年 3 月

一般社団法人大阪臨床整形外科医会理事会

日時： 平成 29 年 3 月 4 日（土） 15：00～18：00

場所： ハービス PLAZA 6 階（4, 5, 6）会議室

大阪市北区梅田 2-5-25 TEL06-6343-7350

参加者

会長：前中孝文

副会長：小林正之、白木隆士、長谷川利雄、藤本啓治、増田博

理事：上野憲司、右近良治、大島正義、太田信彦、貴島浩二、岸本成人
木下裕介、日下昌浩、栗本一孝、神藤佳孝、田上実男、調子和則
中川浩彰、中野晋吾、永田行男、宮内 晃、宮崎 浩、宮島茂、
宮田重樹、森下 忍、森本清一、矢倉久義、山口康二、山口眞一
山本 哲、吉村弘治、和田孝彦

監事：黒田晃司

理事会特別出席者：早石雅宥

欠席者：石井正治、大成浩征、荻野 晃、古瀬洋一、茂松茂人、清水広太
西川正治、西澤 徹、堀口泰輔、梁 裕昭（敬称略）

[協議事項]

1、平成 28 年度 OCOA 会計報告

白木副会長

一般会計・学術会計の説明があり、承認された。

一般会計	収入	36,033,81 円	（前記繰越額	13,689,42 円）
	支出	36,033,81 円	（次期繰越額	12,879,876 円）
学術会計	収入	10,149,587 円	（前記繰越額	4,876,543 円）
	支出	10,149,587 円	（時期繰越額	2,480,825 円）

2、監査報告書

白木副会長

松矢浩司監事・黒田晃司監事により監査の結果、適正に会計処理されていると報告された。

3、OCO A 収支比較

白木副会長

OCO A 収支報告

平成28年度赤字 ▲3,205,264円（一般 ▲809,546+学術▲2,395,718）

平成27年度赤字 ▲3,676,117円 (一般▲1,437,614+学術▲2,238,503)

4、OCAO 資産推移

白木副会長

年度	2013	2014	2015
一般会計	¥17,890,000.00	¥19,010,000.00	¥18,120,000.00
学術会計	¥9,870,000.00	¥6,940,000.00	¥7,030,000.00
合計	¥27,760,000.00	¥25,950,000.00	¥25,150,000.00
	2016	2017	2018
	¥15,130,000.00	¥13,690,000.00	¥12,880,000.00
	¥7,120,000.00	¥4,880,000.00	¥2,870,000.00
	¥22,250,000.00	¥18,570,000.00	¥15,750,000.00

5、平成 29 年度予算案

白木副会長

収入 40,662,701 円 (前期繰越額 15,360,701)

支出 40,662,701 円 (予備費 13,152,701 40周年記念事業準備金 3,000,000 含む)

以上説明あり承認された

6、OCAO 予算削減対策について

白木副会長 前中会長

上記4、がグラフで示され、赤字対策について議論された

支出が増えたのは事業支出(大阪マラソン・療法士会・骨と関節の日など)が増えたため
すでに出務費などは減額している

増収(会員を増やす・研修会のあり方など)、支出削減(学術助成の見送り・各委員会で費用削減を考える・赤字事業の存廃など)について多くの意見が出たが、今回は現状理解してアイデアを募るまでとし、まず常任理事会や経理委員会で早急に対策協議することとした

7、大阪臨床整形外科医会学術助成の継続について

白木副会長

< 平成 26 年 1 月 31 日締切 >

1. 第88回日本整形外科学会 大阪大学整形外科 教授 吉川秀樹
2. 第24回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 大阪厚生年金病院 富士武史

< 平成 27 年 1 月 31 日締切 >

1. 第46回日本人工関節学会 関西労災病院 大園健二
2. 第28回日本整形外科超音波学会 医療法人河端病院 副院長 渡邊千聡

< 平成 28 年 1 月 31 日締切 >

1. 日本リハビリテーション医学会 第 1 回秋季学術集会
大阪大学大学院医学系研究科運動器バイオマテリアル学寄附講座 管本一臣
2. 第 45 回日本マイクロサージャリー学会
大阪掖済会病院手外科外傷マイクロサージャリーセンター 五谷寛之
3. 第 31 回日本自己血輸血学会 近畿大学医学部堺病院 菊池 啓

< 平成 29 年 1 月 31 日締切 > 申請なし

* 予算の都合上、新たな助成は当分見送る予定

8、研修会予定

増田副会長

294～298 回研修会の日程・場所・演題・共催の予定が提案、承認された

特別研修会（平成 29 年 8 月 5 日、ANA クラウンプラザ大阪）の演題が提案、承認された
（今後、本会を定期開催で共催にすることを検討）

299～304 回研修会（301 回研修会は 40 周年記念講演会）の日程・場所予定の報告

9、29 年度 OCOA 計画 セラピスト研修会

上野理事

開催日時 平成 29 年 11 月 12 日（日）

場所 エーザイ（株）大阪コミュニケーションオフィス

各大学（大阪市大 阪大 大阪医大 関西医大）からの講師選出し演題は調整
学会・OCOA ホームページ掲載 8 月研修会配布で広報

一次申込期間 9 月 11 日～10 月 13 日 申込方法はメールのみ

予算（* 黒字事業である）

< 収入 > 800,000 円（参加費）

< 支出 > 560,000 円（研修会登録費 10,000 講師料（4 名）120,000

出務料 30,000 委託料 400,000 の合計）

10、29 年度計画 ゴルフコンペ

上野理事

春 平成 29 年 5 月 28 日（日） 枚方カントリー

秋 平成 29 年 11 月 3 日（祝・金） 天野山カントリー で開催予定

OCOA から補助金 上限各 10 万円（計 20 万円） 参加費は 1 人 5 千円

11、29 年度 OCOA 計画 ロコモ健康フェア

上野理事

日時： 平成 29 年 7 月 8 日（土）14：00～（天王寺都ホテル）

テーマ： 中高年のスポーツ

健康維持のために、中高年にスポーツを勧める

(障害を契機に運動をやめる人も多く、運動療法での対応についても言及してもらう)

講演 1. 大久保衛先生「中高年のスポーツのすすめ」(仮題)

体操実施 野崎紀子先生(80歳を超えて現役で健康体操教室を開催)

講演 2. ?(廣田遥氏と交渉中)

予算 0COA から 60 万円(大久保先生 10 万 野崎先生 3 万 廣田氏 30 万)

*今後、担当委員長の交代を考慮して早々に副担当を人選しておく

1 2、日整会運動リハ委員会委員の推薦について 永田理事

前任者が後任を推薦でき、貴島浩二先生(山口真一先生が予備)が推薦された

後日、日本整形外科学会より就任依頼が送られて来る

1 3、2017 年骨と関節の日イベント 吉村理事(梁理事の代理)

日時 平成 29 年 10 月 14 日(土) 14:30~16:30(開場は 13:45)

場所 新大阪ブリックビル 3 階(約 300 人収容)

演題① (仮) ロコモと予防体操ロコトレ 認知症予防・膝・腰の体操も含めて

梁 裕昭

演題② (仮) ロコトレやその他の体操実技

宮田重樹

予算合計: 約 36 万円

(会場費備品等約 24 万円 講演料 2 演題分 6 万円 保険代 2 万円 チラシ代 4 万円)

◎MSD 撤退で、新たにエーザイ(株)が共催することが承認された

◎会場が淀川区で、聴衆集めも兼ねて淀川区医師会を後援にすることが承認された

1 4、大阪臨床整形外科医会療法士会

平成 29 年度事業方針・事業計画 (案)

白木副会長

【平成 29 年度事業方針案】

大阪臨床整形外科医会会員の施設で勤務する療法士を中心に、相互の親睦を深めるとともに

知識・技術の向上に努め、質の高い運動器リハビリテーションの提供とその発展・普及を目指す。

【平成 29 年度事業計画案】

1. 大阪臨床整形外科医会（以下、OCOA）会員施設（診療所）への理学療法士・作業療法士・言語聴覚士および現状調査と会員名簿の作成
2. 外来リハビリテーション検索サイト開設プロジェクト推進
3. 第 7 回研修会 / 総会 の開催
4. 会員対象の講習会開催（年 3 回程度）
5. 第 5 回 OCOA リハビリテーション研修会の開催
6. 勉強会の開催（年 6 回）：養成校との連携に配慮する
7. 1) 教育連携システムの構築
2) 訪問リハ開設支援システム構築
3) 通所リハ開設支援システム構築
8. HP 等での広報充実、OCOA との連携
9. 第 30 回日本臨床整形外科学会学術集会での演題発表
10. その他 会員増目的もあり、今後大阪南部での開催を検討

別資料 平成 28 年度会計収支決算（平成 28 年度 1 月 31 日 〆分）

収入 1,010,092 － 支出 671,819 ＝ 338,273 円

助成金 650,092 － 助成金使用 322,691 ＝ 327,401 円（助成金最終残高）

15、全国健康保険協会審査委員選定

前中会長

藤本勝久先生から交代、利便性を考えて市営地下鉄四ツ橋線沿線で開業の先生に依頼

16、その他

前中会長

[報告事項]

1、会員動態（前回の理事会以降）

白木副会長

一般会員 471 名、顧問 9 名、名誉会員 13 名、計 493 名

2、平成 28 年度第 5 回一般社団法人 JCOA 理事会

長谷川副会長

日時：平成 28 年 12 月 18 日（日） 場所：ロイヤルパークホテル東京

【審議事項】

- ・ JCOA 会員に対する「ロコモに関するアンケート調査」について（林）
- ・ 全国ストップ・ザ・ロコモ協議会認定ロコモコーディネーター資格継続に係る「各県」臨床整形外科医会等への依頼文の送付について（林）
- ・ 平成 29 年度学会功労賞候補者推薦申請書の提出期限を過ぎての提出について（長谷川）
→否認
- ・ 平成 29 年度学会功労賞の選考について（長谷川）→議題取り下げ
- ・ 下肢運動機能に関するソフトウェア開発費用の寄附について（田辺）
- ・ 湿布剤の RCT の実施について（田辺）

【報告事項】

- ・ 運動器検診後の受診勧告児童・生徒の受診後調査報告（新井）
- ・ スクールトレーナー制度について（新井）
- ・ 骨粗鬆症領域における MSD 株式会社の活動見直しについて（三宅）
- ・ 各都道府県臨床整形外科医会状況アンケート結果報告（廣瀬）
- ・ ロコモティブシンドローム対策の体制について（田辺）
 - (1) 5 疾患・5 事業に運動器を入れることはできなかったが、第 7 次医療計画の「医療計画作成方針」及び「疾病・事業及び在宅医療に係わる医療対策構築に係わる指針」の見直しが行われ、ロコモが入れられた。
 - (2) ロコモ対策を扱う専門部署が厚労省老健局にできた。

【各種委員会報告】

【整医協報告事項】

3、第 4 回大阪臨床整形外科医会リハビリテーション研修会 長谷川副会長

参加総数：284（会員126, 非会員125、療法士会33）

日程：平成29年2月4日（土） 場所：ANAクラウンプラザホテル

次年度 平成30年2月10日（土）

4、平成 28 年度第 6 回一般社団法人 JCOA 理事会 長谷川副会長

日時：平成 29 年 2 月 19 日（日） 場所：ロイヤルパークホテル東京

【審議事項】

- ・ 平成 29 年度定時社員総会の議案について（田辺）
- ・ 新委員会設置について（田辺）
日本臨床整形外科学会災害医療チーム検討委員会（田辺）

- ・平成32年JCOA学術集会の開催県の報告と開催時期（三宅）
- ・各県代表者への乳児股関節二次検診への協力医の名簿提出のお願いについて（原田）
- ・平成29年度学術賞・学会功労賞の選考について（長谷川）
- ・JCOA生命共済制度見直し案について（廣瀬）
- ・「骨と関節の日」の新聞広告・ポスターの表彰について（廣瀬）
- ・国際交流委員会委員の追加（林）

【報告事項】

- ・地域連携パスの今後について（藤野）

【各種委員会報告】

【整医協報告事項】

5、平成28年度第6回医療システム委員会

岸本理事

日時：平成29年2月5日（日） 場所：ステーションコンファレンス東京

- ・H28年JCOAシンポジウム 「柔道整復療養費，問題点の整理」
- ・H29年JCOAシンポジウムについて
 - (1) 日程：平成29年11月12日（日）
 - (2) テーマ「医師と療養費」
 - (3) 基調講演：印南一路先生（慶應義塾大学総合政策学部教授）

6、平成28年度医療システム委員会、日整会広報・渉外委員会合同委員会

岸本理事

日時：平成29年2月5日（日） 場所：ステーションコンファレンス東京5階

【報告事項】

H28年JCOAシンポジウム報告

【協議・検討事項】

1. H28年JCOAシンポジウム報告に対する質疑応答
2. 「柔道整復師に関する要望書」内容の会員周知方法について
3. 柔整エコーについて
4. 「医療類似行為に係る健康被害報告」

7、平成28年度第3回無床診WG委員会

矢倉理事

日時：平成29年1月15日（日） 場所：日本臨床整形外科学会事務局2F「会議室」

- ・第30回学術集会（東京）のパネルディスカッションでの講演・演者の決定、

及び次回WG委員会日程の協議を行った。

8、平成28年度児童生徒等の健康診断の実態状況調査報告書について

貴島理事

平成28年度に行われた学校での健康診断について文部科学省より小、中、高等学校を対象にしたアンケート結果の中で、運動器検診に関する内容について報告した。

9、平成28年度第5回編集委員会

永田理事 宮島理事

日時：平成29年2月22日（金） 場所：テレビ会議(ウェブ会議)

1. ニュース・会報の反省と予定

(1) ニュース第151号の反省

「医事紛争事例に学ぶ」の原稿の病院名については記載しないこととした。

(2) ニュース第152号の進行状況 →3月末の発刊予定

(3) ニュース153号の予定→5月上旬の発刊予定

(4) 会報第19号進行状況

会報第19号は第29回学術集会（北海道）の特集号。平成29年4月末の発行を予定。会報第19号に依頼のあった外保連ニュース第26号原稿の掲載を認めた。

(5) 会報第20号進行状況

第43回研修会（三重）の特別号。平成29年8月末の発刊を目指す。

2. その他

2020年の学術集会は東京オリンピックと重なるため、10月の連休に変更し、研修会の日程も変更されるとのことである。

次回委員会 平成29年4月1日 17:00～ JCOA事務局（東京）

10、平成28年度第5回雑誌編集WG

永田理事 宮島理事

日時：平成29年2月22日（水） 場所：テレビ会議

1. 委員交代関連

委員交代の際、新旧委員がオーバーラップして人数が一時的に（2年間）増えることは、さらに可能か。（永田先生と宮島先生の例）

3. 英文翻訳

110号から英文翻訳をはじめている。

翻訳は、受理後に行っている。

翻訳文は、準備稿、編集、著者校正の各段階で修正が加わる可能性がある。

事務局では、翻訳サービス（国際医学情報センター翻訳課）から翻訳文が届いたら、そのまま著者に翻訳文を送っていた。

○討議事項

1. 表紙、和文目次、英文 contents の月の表示

1 1、OCOA40 周年記念誌作成委員会

宮田理事

日時：平成 28 年 12 月 29 日（木） 場所：東心斎橋 湖月

- ・発行時期：平成 29 年 12 月～平成 30 年 2 月頃
- ・内容主目的：OCOA 40 年の沿革から現在までの歩みを纏める
- ・内容概要の検討

1 2、広報委員会および OCOA40 周年記念誌委員会

宮田理事

日時：平成 29 年 2 月 18 日 場所：グランビア大阪

- ・第 43 号会誌
- ・OCOA40 周年記念誌

1 3、第 3 回療養費適正化勉強会

宮田理事

日時：平成 29 年 7 月 22 日（土） 場所：ハービス ENT 9F 13:00-19:00

で第 3 回療養費適正化勉強会が行われる

1 4、弔事対応経過報告

上野理事

上野理事より弔事対応経過の報告がなされた。

1 5、総会レジメの進捗状況について

木下理事

原稿締切 3 月 9 日、3 月 17 日納品予定

1 6、各委員会報告

- | | |
|-------------------------|--------|
| ◇医療保険対策委員会 自賠労災 | 長谷川副会長 |
| ◇JCOA 対策委員会 近畿ブロック会担当部会 | 長谷川副会長 |
| ◇広報委員会 | 宮田理事 |
| ◇総務委員会 | 木下理事 |
| ◇40 周年記念誌発行準備部会の委員会報告 | 中野理事 |
| ◇記念事業準備委員会 | 貴島理事 |

◇医政担当委員会	柴田委員
◇災害対策委員会	神藤理事
◇療法士委員会	中川理事
◇大阪マラソン委員会報告	荻野理事
◇医療保険対策委員会 柔整	岸本理事
◇介護保険・運動器リハビリテーション委員会	上野理事
◇骨と関節の日委員会	上野理事
◇総務委員会福利厚生部ゴルフ部	上野理事
◇経理委員会	清水理事

17、第2回40周年記念祝賀会準備委員会

白木副会長

日時：平成28年6月25日（土） 場所：リーガロイヤルホテル

講演講師、予算、規模、会費について報告

次回H29年3月8日（水）に予定

18、研修会実施報告

増田副会長

292回研修会、293回研修会について報告

19、その他

前中会長

この議事録が正確であることを証するため、定款第40条の規定に従い、会長及び監事が署名、押印する。

平成 年 月 日

会長

印

監事

印